

都市再生整備計画

もがみこうえん
最上公園

だい
第1回

かいへんこう
変更

周辺地区(第1回変更)

やまがた
山形県

しんじょう
新庄市

令和5年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	山形県	市町村名	新庄市	地区名	最上公園周辺地区	面積	32.4	ha
計画期間	令和5年度	～	令和9年度	交付期間	令和5年度	～	令和9年度	

目標
 大目標：新庄城址を中心とした旧城下町にふさわしい賑いと活気のあるまちづくり
 目標1：市民が集い憩うことができる快適な空間づくり
 目標2：来訪者が新庄の歴史を感じられるエアづくり
 目標3：まちの賑いや観光の拠点づくりと周遊性の向上

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ・本市は元和8年(1622)に戸沢政盛公によって開かれた新庄藩の城下町であり、寛永2年(1625)に現在の最上公園に新庄城が築城された。戊辰戦争により新庄城は焼失したが、城址には明治27年(1894)に戸沢神社が建立され、堀や土塁が往時の面影を残す城址公園として整備されている。
 ・令和7年には、新庄藩開府から400年の節目を迎えることから、このことを契機として歴史的風致を生かしたまちづくりに取り組み、令和4年度中の歴史的風致維持向上計画の認定を目指している。
 ・歴史的風致維持向上計画においては、新庄城址・最上公園や新庄藩主戸沢家墓所を含めた重点区域を設定し、修景整備事業等に取り組む方針としている。
 ・歴史的風致維持向上計画の策定にあたって市民1,000人を対象として実施した「歴史まちづくりに関するアンケート(令和3年10～11月実施)」において、今後推進すべき取り組みとして、「新庄城址(最上公園)の整備」を望む声が多かった。
 ・最上公園周辺には、新庄ふるさと歴史センターや市民文化会館、新庄中学校などの公共施設が集積され、市民が郷土の歴史・文化を感じながら憩える空間づくりを目指している。
 ・最上公園(都市公園)敷地に公立保育所を整備する予定であり、周辺施設と連携した公園施設の機能を強化し、豊かな自然の中で子育てができる環境整備を目指している。
 ・新庄駅から最上公園までの約1.4kmの行程は、観光客が散策する主要なルートとなっているものの、商店街の空き店舗や空き地が増加し、沿道の魅力が低下している。

課題
 ●城址公園としての整備
 ・新庄藩開府400年を機に、最上公園周辺の歴史・文化的価値を再構築するための整備が求められている。
 ・最上公園は昭和60年(1985)から平成13年(2001)にかけて大規模な整備を行っているが、20年以上が経過し、施設機能の老朽化対策が必要になっている。
 ・公立保育所を含む公園全体の機能を充実させることで、子育て世代を中心とした市民の生活の質(QOL)の向上が求められている。

●公園周辺施設の連携
 ・最上公園や周辺の公共施設については、一体的な利用や管理が図られていない部分もあり、利用者の利便性を阻害する要因となっている。そのため、エリア内の公共施設をはじめ、新庄駅や商店街とも連携させることでエリアとしての魅力を向上させ、市民の満足度や観光客の周遊性の向上が求められている。
 ・新庄駅から最上公園までの行程をウォーカブルな空間にしていいため、沿道の観光コンテンツや案内サインの整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)
 ①第5次新庄市総合計画(2021-2030)(令和2年度策定)
 まちづくりの柱2(教育)「文化芸術の振興」
 <10年後の目指すべき状態：優れた芸術や伝統文化に触れることで市民の誇りや愛郷心が醸成され、多くの市民が心豊かに文化芸術活動に親しんでいる>
 ・伝統文化の継承とふるさと意識の醸成
 ・文化財の保存活用と継承

まちづくりの柱6(都市基盤)「住みやすい都市形成」
 <10年後の目指すべき状態：まちなか居住ができる市街地が形成され、周辺集落とのネットワークが形成されている>
 ・憩いとうるおいの空間の創出

②新庄市都市計画マスタープラン(2020-2040)(令和2年度策定)
 ○都市機能の整備方針
 【公園・森林・緑地、河川】
 ・新庄城址を中心とする最上公園は、桜の名所として、また、憩いの場として広く市民に親しまれる等、本市の中心的な公園であることから、歴史・文化拠点を形成する公園・緑地系統の核として機能充実・整備を進める。
 ○都市環境・その他の整備方針
 【景観(歴史景観)】
 ・市内散策野外コースや新庄駅を起点とした歴史的施設への史跡探訪コース等の整備・充実に努め、多くの人に親しまれるよう、必要な機能については景観にも配慮しながら整備を図る。
 【観光・交流】
 ・最上公園について、既存施設や景観を活用した観光拠点としての魅力づくりを検討する。

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【市民が集い憩うことができる快適な空間づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場及び園路の再整備 ・景観上の支障木の撤去、植栽 ・来訪者のための駐車場及び進入路整備 ・既存便所の改修、バリアフリー化 ・既存施設と連携した滞在空間の向上 	<p>【基幹事業】(公園)広場・園路・駐車場、照明施設、休憩スペース 【基幹事業】(公園)便所 【基幹事業】(道路)公園進入路(市道高校前線) 【関連事業】中部保育所整備</p>
<p>【来訪者が新庄の歴史を感じられるエリアづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城址公園としての修景整備 ・景観上の支障木の撤去、植栽(再掲) 	<p>【基幹事業】(公園)本丸内広場、園路(土橋) 【提案事業】(地域創造支援事業)二の丸跡埋蔵文化財調査</p>
<p>【まちの賑いや観光の拠点づくりと周遊性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者のための駐車場整備(再掲) ・周遊性向上のための情報案内サインの整備 ・二次交通の整備 	<p>【基幹事業】(公園)広場・園路・駐車場、照明施設(再掲) 【基幹事業】(地域生活基盤施設)情報板 【基幹事業】(地域生活基盤施設)共用駐車場</p>
<p>その他</p>	

最上公園周辺地区(山形県新庄市)

面積 32.4 ha 区域 新庄市堀端町、小田島町、大手町、沖の町、本町の各一部

